

## 【市民提案】

# 7. 寺社仏閣プロデュース

## 【主旨】

1. 街道筋に現存する寺社仏閣がもつ貴重な歴史資源とその文化を発掘し、現代的な視点で蘇らせてPRしましょう。
2. 寺社仏閣の持つ歴史資源を活かした、川崎宿の新しい歩き方、楽しみ方を提案していきましょう。

## 【内容】

### 1. イベント

- 街道筋の寺社仏閣における既存の縁日・お祭り・イベントをより広くPRしましょう。
- かつて行っていたが、現在は途切れている催事や縁日を、現代の人々が楽しめる趣向を取り入れて復活させましょう。
- 寺社に伝わる伝承や資源を活かしたイベントを創り上げましょう。



年2回の一行寺の藪入り（閻魔様ご開帳）2000年には1月の縁日が地元の努力で60年ぶりに復活した。



350年前の大師河原の慶安酒合戦を再現したという川崎大師の「水鳥祭」は平成7年に始まった人気イベントだ。

### 2. お宝PR

- 寺社仏閣が持つ宝物を調査し、川崎宿宝物マップを作成しましょう。  
例：教安寺の唐紙、稲毛神社の棟方志功襖絵など
- 街道筋の寺社仏閣の「お宝公開の日」を設定し、「宝物めぐり」のウォークラリーやイベントを開催しましょう。



きらびやかな教安寺の唐紙。文化的価値も非常に高い。

### 3. 寺社仏閣のPR

- イベントや宝物以外にも、街道筋の寺社に残される歴史遺産や文化、伝承を集めて紹介しましょう。
- 寺社が持つ説話や仕来たり、史跡を活かしたグッズやキャラクターの開発を進めましょう。

例：一行寺の閻魔様グッズ（閻魔帳や閻魔豆）、  
医王寺（旭町）の蟹グッズなど

- 寺社が持つご利益やその実例を調査し、ご利益ガイドを作成しましょう。

例：安産は、、  
必勝祈願は、、、  
恋愛成就なら、、、 など



医王寺には、火災の際に、池の蟹達が鐘つき堂を守ったという伝説がある。

### 4. 新たな歩き方、寺社めぐりの提案

- 寺社仏閣がもつ歴史資源をベースに、川崎宿の新しい歩き方、史跡めぐりコースを提案し、整備しましょう。

例：

- ・ 十王めぐり（一行寺の閻魔様を活かし、地獄で亡者を裁く10人の裁判官をめぐるコースを設定・整備する。）
- ・ 七福神めぐり（七福神をめぐるコースを設定・整備する。）
- ・ 各寺社でそれぞれ新たな魅力となるような体験やアトラクションを用意する。（例：写経、鐘突き、ゆかりの人物に扮しての写真撮影など）
- 寺社めぐりの「御朱印帳」や「スタンプ帳」の作成、寺社めぐり完歩記念グッズの作成など、川崎宿散策のきっかけづくりにも工夫しましょう。
- コースの提案だけでなく、実際にそれを体験したり、PRするためのウォークラリーなどのイベントを開催しましょう。



ウォークラリーの際に作成した、各寺社のスタンプを活用しよう。

### 6. 進め方など

- 寺社仏閣の理解と協力を得ながら進める必要があります。
- イベント等の運営に際しては、地元住民、商店街、企業の協力、参加を得ながら進めましょう。
- 専門家も踏まえた調査を実施し、まだ知られていない資源の発掘に努めましょう。